

事業系ごみを減らしましょう！

問合せ 防災環境課 ☎0495-77-2124

現在、埼玉県内では年間約55万トンの事業系ごみが排出されています。事業系ごみの削減は、事業者の責務です。

限りある資源を有効に活用するためにも、一層のごみ減量・リサイクルに取り組みましょう。

事業者の責務（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第3条 一部抜粋）

- 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。
- 事業活動に伴って生じた廃棄物の再生利用等を行うことにより、その減量に努めること。

野生動物等により傷害を受けた方へ見舞金を支給します！

問合せ 防災環境課 ☎0495-77-2124

町では、平成28年10月1日以降に野生動物等により傷害を受けた方に対して、見舞金を支給します。なお、平成28年10月1日以前に受けた傷害は、見舞金の対象になりませんのでご注意ください。

- 対象者 神川町内に居住又は勤務しており、町内において野生動物等による傷害を直接的に身体へ受けた方又はその家族
- 見舞金額 死亡された場合 2万円
1ヵ月以上の負傷の場合 1万円
- 必要書類 治療内容を証明できる書類（負傷の場合）、在勤の場合はそれを証明できる書類
見舞金の振込先の分かるもの（預金通帳等）

こども農園

定期的に「こども農園」の様子をお知らせするよ。
サツマイモを使ったレシピをこども農園HPで紹介しています。
そちらも合わせてご覧ください。

問合せ 保健センター ☎0495-77-4041

◆8月の活動◆

8月30日(火)、こども農園参加者を含む町内在住の親子と豆腐作りを実施する予定でしたが、台風接近のため中止となりました。冬季に豆腐作り教室の参加者を再度募集したいと考えておりますので、興味のある方はぜひご参加ください。広報もしくは、お知らせ版にて参加者の募集をさせていただきます。

◆9月の活動◆

9月17日(土)、サツマイモ掘りと大根の種まき、家庭菜園チャレンジ企画としてベビーリーフの種まきを行いました。

試食会では、農園で育てたベニアズマ、なんと金時、安納芋、パープルスイートロー

ドの食べ比べをしました。品種による味の違いについて、驚きや発見が沢山あったようで、参加者同士の会話が弾みました。



合併処理浄化槽の維持管理費の一部を補助します

問合せ 防災環境課 ☎0495-77-2124

浄化槽とは、微生物の働きで汚水をきれいな水にして放流する排水処理施設のことで、機能を十分に発揮させるため、保守点検・清掃・法定検査の実施が浄化槽法で義務付けられています。

町では、浄化槽を適正に管理しているみなさまの負担を少しでも軽減するため、維持管理費の一部を補助しています。(10人槽以下が対象)

- 補助対象地域 下水道区域（渡瀬・元原）以外の地域
- 補助金額 補助対象経費（保守点検・清掃・法定検査）の合計額の2分の1の金額とし20,000円を上限とする。
- 補助対象期間 初めて補助金を受けた年度から起算して3年間（申請は毎年必要です）
- 申請必要書類 ①浄化槽法第11条による法定検査結果書の写し及び領収書の写し
②清掃に要した費用に係る領収書の写し
③保守点検に係る記録簿（直近2回分）の写し及びこれに要した1年分の費用に係る領収書の写し
- その他 上記書類の他に、補助金の振込先の分かるもの及び印鑑をご持参ください。

10月は「3R推進月間」です！

問合せ 防災環境課 ☎0495-77-2124

3Rとは、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3つの英単語の頭文字を取っており、循環型社会を構築するための重要なキーワードです。一人ひとりができることからごみの減量化に取り組みましょう。

- Reduce（リデュース） → 「ごみの発生抑制」を指します。一番大切なのはごみを出さないこと。まずはごみを出さないライフスタイルを心掛けましょう。
- Reuse（リユース） → 「再使用」を指します。不用になったものでも、それを必要としている人がいるかもしれません。捨てないで必要な人に譲りましょう。
- Recycle（リサイクル） → 「再資源化」を指します。ごみになってもしっかりリサイクルで生まれ変わります。正しく分別して、資源を有効に活用しましょう。

例えば…マイバッグの活用!!

レジ袋は、1人当たり年間約300枚使用されていると言われています。もし、神川町の全員が毎日レジ袋を1枚もらった場合、

$$14,000人 \times 10\text{グラム (レジ袋)} \times 365日 \\ = 51,100,000\text{グラム} = 51,100\text{キロ} = 51.1\text{トン}$$

なんとレジ袋だけで年間約51トンのごみになります。そのため、マイバッグの活用は、ごみの減量化に有効であると考えられています。

